

特集

よこはま動物園
ズーラシアで出会う

動物たちの もようの ヒミツ

特集 よこはま動物園ズーラシアで出会う

動物たちのもようのヒミツ

4 動物のもよう学入門

よこはま動物園ズーラシア園長 村田浩一

8 ズーラシアもよう図鑑

連載

26 相鉄線沿線 花と緑さんぽ

28 相鉄「もの」物語

特集 ヨコハマ世界旅行

SOTETSU WORLD TRIP PASSPORT

SOTETSU WORLD TRIP!

53 「ヨコハマ世界旅行」の楽しみ方

51 World Map

イベント

35 Event Information ●スタンプラリー台紙

表紙イラスト／サタケッシュンスケ

本誌で掲載された情報は一部を除き、2026年1月13日現在のものです。

情報内容は変更される場合がありますので、ご了承ください。

本誌に記載の価格は全て消費税込みです。

- 次号（第295号・2026年4月1日発行予定）は、「50年」について特集します。
なお、発行時期、または掲載内容が変更となる場合があります。

特集

よこはま動物園ズーラシアで出会う
動物たちの

もよう の ヒミツ

よこはま動物園ズーラシアで動物たちを見ると、さまざまな「もよう」を目にすることができます。それぞれの習性や生息地の環境によって、動物たちの体毛などの色や質感は実に多種多彩。そんな「もよう」に着目すると、動物たちのヒミツにふれることができる、かもしれません。

動物の

もよう 学入門

動物たちには、特徴的な「もよう」がある種が少なくありません。そもそも、どうして動物にもようがあり、なぜもようや体色には多様なバリエーションが存在するのでしょうか。ズーラシアの園長である村田浩一さんに、動物たちのもよようにについて解説していただきました。

隠されたかつたり、目立ちたかつたり

なぜ動物たちにもようがあるのかというと、いくつか理由が考えられます。代表的なもようの役割は、カムフラージュです。トラやヒョウの仲間には、



よこはま動物園
ズーラシア園長
村田浩一

とても派手なもようがあります。でも、彼らが草むらに潜んでいると、それほど目立ちません。しかも、トラやヒョウの標的となる草食動物は、色を見分けることが苦手です。草食動物の目には世界がモノクロのように見えていふと考えられ、草むらや日陰にいるトラやヒョウが識別しづらいのです。

イノシシの子どもは「ウリ坊」とい、文字通りマクワウリのようなもようがあります。こうした子どものころだけのもようや体色は、木漏れ日の中で動かないでいれば天敵に見つからずに済むのかもしれません。

一方で、森の中においても保護色にならず、むしろ目立つもようもあります。オカピ（8ページ）のおしりのしまもようもそうで、木々の中でも「そこにいる」とはつきり分かります。こうしたもようは、群れの中で個体を認識する役割があるのでないかと考えられます。

フランソワルトン（16ページ）の赤ちゃんも、とても目立つオレンジ色の毛で覆われています。このオレンジ色の赤ちゃんを、母親だけでなく群れの仲間がみんなで面倒を見ます。でも、成長とともに体毛がオレンジ色から黒

に生え替わると、だんだん面倒を見てもらえないなくなるのです。

目立つといえば、ベニジュケイ（10ページ）など鳥類のオスが派手なことがよく知られています。あるとき、来園者の方が「メスは地味だし、子育てを押し付けられてばかりで、かわいそう」といつていきました。でも、オスは天敵に狙われる危険を冒しながら、メスに選ばれるためにあえて派手な見た目になつている、とも考えられます。そう思うと、一概に「メスがかわいそう」とはいえないのかもしれません。

人間はつい、自分たちの考え方や倫理や道徳などを動物たちに当てはめようとしがちです。でも、人間には計り知れない事情や理由など、生き物の世界には幾らもあります。また、もつともらしい説明を聞くと、すんなり納得しがちです。もようの役割はカムフラージュです、といわれると、そこで考えるのを止めてしまう人も多いかもしれません。果たして本当にそうなのが、自分なりに考え続けることも大事なのではないかと思います。

長年、シマウマのしまもようは、ライオンなどの天敵の目を混乱させる機

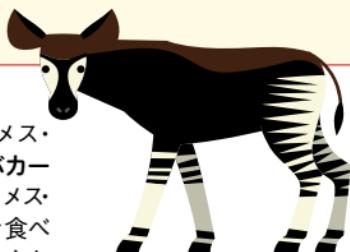
能があると考えられました。でも、あの柄には吸血昆虫が止まりにくいうとする研究成果が近年になつて発表されました。また、シマウマの白黒もようは体温の上昇を抑える効果があるという説も提唱されています。どの説が正しいのか、シマウマ柄には複数の役割があるのか。いずれにしろ、シマウマのもようにはカムフラージュだけではなく、別の機能があるのかもしないと考えると、あらためて動物の世界の奥深さ、不思議さにワクワクします。例えば、キリン（24ページ）のもようについても、その見え方は一面的ではありません。1頭だけなのか仲間と一緒になのか、日の光の当たり具合や時間帯、展示場にある植物との関わりなどによつても、もようの見え方は変わります。そして、じつくりもようを眺めていると、なぜこんなもようなのか、何でこの色なんだろうかなどと、いくつもの「？」が思い浮かびます。すぐに答えが分かるわけではないし、正解を出すことを急ぐ必要もありません。ただ、動物たちと真剣に向き合い、自分なりに疑問を感じることそのものが、動物園での有意義な時間の過ごし方の一つなのではないかと思っています。（談）

アフリカの中央部に位置するコンゴ民主共和国の「イトゥリの森」という熱帯雨林にのみ生息しているオカピ。おしりと足にしまもようがあり、体全体はこげ茶色をしています。その外見からシマウマの仲間と思われがちですが、キリン科に属しています。



ズーラシアにいる主な個体

ホダーリ（オス・24才）は穏やか、ララ（メス・11才）は食いしん坊でちょっと人見知り、バカリ（オス・10才）はやんちゃな性格、フラハ（メス・1才）はおてんば。みんな共通して大好きな食べ物が、ビワの葉です。なお、オカピはもともと熱帯雨林に生息する動物で、自らも油のような成分を分泌して皮膚を保護しています。乾燥しがちな日本の冬期の湿度管理は重要で、部屋の中の湿度が常に50%以上になるように加湿器やサーキュレーターを使用しています。





オカピのおしりのしまもようは、まるで白い鳥が大きく羽ばたいているかのようです。左右非対称で、見れば見るほど魅了されます。ズーラシアにいるオカピの中では、特にオスのバカーリには細かいしまがたくさん入っていて、非常にきれいです。また、オカピの毛並みは高級なビロードのようにキメ細やか。一度触れたら忘れられなくなるほど、最高の触り心地です。

もよう の ヒミツ

CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

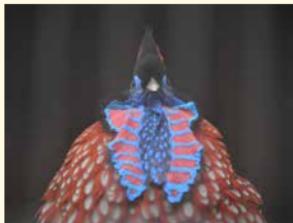
冬の間は全体的に茶色が多いズーラシアの屋外展示場ですが、気温の上昇とともに少しずつ明るい緑に変わっていきます。それに伴い、焦げ茶色のオカピがより一層際立って見えるようになると思います。また、春になると屋外展示場の木々から新芽が出てくるため、その新芽を求めてオカピたちの行動範囲がぐっと広がります。春の活発になったオカピたちの姿をぜひご覧ください。

02

ベニジュケイ

亜寒帯の森

チベットの南東部から中国の雲南省、四川省、陝西省、ベトナム北部にかけて生息しているキジの仲間。山地の常緑混合林で、木の葉、草、茎、種子、果実といった植物、昆虫類などを採食しています。オスがとても目立つ色をしているのに対し、メスは地味な茶色をしています。



ズーラシアにいる主な個体

おおらかなオス（8才）と、少し神経質なメス（6才）がいます。ズーラシアのベニジュケイは他のキジと比べて人に対する警戒心が強くなく、飼育員のすぐ近くにやってくることもあります。なお、繁殖期が終わると、羽が生え替わる「換羽」が起こります。この時期には多くのエネルギーを必要とするため、タンパク質を多めに給餌します。また、羽がたくさん抜けるので掃除も念入りに行います。





もよう の ヒミツ

基本的にキジ類のオスは、メスに求愛をするために羽色やもようが派手であることが多いです。ベニジュケイのオスは赤みを帯びたオレンジ色で体には大きな灰白色の斑点が並びます。一方、メスも白いもようがあるようにも見えますが、周囲の色に溶け込めるような地味な茶色をしています。ちなみに、鳥の羽は体の部位によって形状や硬さが異なります。背中側は雨があたっても大丈夫なようにすべすべ、つるつとした羽。お腹側はふわふわとした手触りです。

CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

オスのもようは、よく見ると腹側は白い斑点、背側は白い斑点の周りが黒く囲われていて、細部まで観察する楽しさがあります。また、繁殖期の春には、オスは頭の「肉角質」と呼ばれる細長く耳状の皮膚を伸ばし、同時に顔の赤と青の混じった「肉垂れ」を前掛けのように広げてメスに求愛します。求愛の時間は短いので、その場面に出会えればとってもラッキーです。

03

ホンドタヌキ

日本の山里

日本や中国などを含めた東アジアと、移入種としてヨーロッパに生息しているタヌキ。日本国内では、本州・四国・九州などに生息するホンドタヌキと、北海道のエゾタヌキがいます。タヌキは雑食性で、主に木の実や昆虫などを食べます。また、薄暗い夕暮れ時から活動し始める夜行性ですが、日中に活動することもあります。



ズーラシアにいる主な個体

茶豆（オス・6才）はやんちゃ、小豆（メス・6才）はマイペースな性格です。どちらも警戒心が強く、新たに飼育担当になって慣れてもらうまでに時間を要しました。今では展示場内でエサをあげる際、茶豆はそばに来てくれますし、小豆は待ちきれないのか、足にしがみついてくることもあります。



もよう の ヒミツ

体の大部分は灰褐色で、目の周り、肩、四肢、しっぽの先に黒いもようがあります。また、お腹やしっぽの下面是黄褐色をしています。暑い時期は毛の密度が少なく、通気性の良い夏毛になり、寒い時期は毛が密に生えそろった保温性の高い冬毛になります。毛の質感は少し硬めですが、夏毛はさらさらとした手触り、冬毛はもふもふとした触り心地です。

CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

換毛によって、夏はさっぱりとした印象に、冬はふくらした姿に変わります。夏毛の姿は、小型犬のようにはっそりとして魅力的ですが、冬毛の丸々とした姿のほうが、一般的なタヌキ像に合致するかもしれません。夜行性のため、日中は寝ていることが多いです。冬の寒い時期は、日の当たる暖かい所で寝転んでいたり、お互いに寄り添って寝ていたりと、かわいらしい様子を見ることができます。



04

トウホクノウサギ

亜寒帯の森

日本固有種であるニホンノウサギの亜種のトウホクノウサギ。本州の日本海側や東北地方の丘陵地から山地にかけての草地に生息しています。体長は45～55cmほど。とても警戒心が強く、敵が近づくと大きな後ろ足を生かし、跳ぶようにして逃げます。



ズーラシアにいる主な個体

他の個体よりも毛並みが良いなずな（メス・8才）、臆病なすずな（メス・8才）、唯一のオスのさつき（7才）がいます。基本的に単独で生活する動物で、なずなとすずなは展示場の高い場所に、さつきは地面にいることが多いです。



CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

夏と冬では別の種かと思うほど毛の色がガラッと変わります。春や秋に毎日少しづつ変化していく毛の色を観察するのはとても楽しいです。冬から春にかけては、真っ白な冬毛から茶色い夏毛に変化する過程を見ることができます。運がよければ、抜け落ちたフワフワの冬毛を見られるかもしれません。

夏は全身に茶色い毛が生えていますが、冬になると真っ白に変化します。季節によって毛色が変化するのは、周りの環境に溶け込み、外敵から身を守るために考えられています。毛の色が変化する途中の春や秋には、茶色と白が混ざった色になります。夏毛は、冬毛に比べるとやや硬め。冬毛はわずかな風でも飛んでなくなってしまうほど軽く、まるで極上の毛布のような手触りです。

もよう
の
ヒミツ



05

フランソワルトン

アジアの熱帯林

ベトナム北部から中国南部にかけて生息しているフランソワルトン。河川に面した石灰山地や険しい岩山のある熱帯モンスーン林に生息しています。オス1頭に対して複数のメスからなる群れを形成。木の葉が主食で、体長よりも尾が長いことが特徴です。



ズーラシアにいる主な個体

6頭の群れのリーダーのニンニン（オス・23才）、肝が据わったベテランママのチョコ（メス・23才）、控えめで穏やかなミント（メス・10カ月）、面倒見が良くて優しいお姉ちゃんのモカ（メス・7才）、やんちゃだけど甘えん坊のダイダイ（オス・10カ月）などがいます。みんなドングリが大好きで、秋には風が吹いて落ちてきたドングリを取りに走る姿がよく見られます。





CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

真っ黒で顔の表情や個性などが分かりにくい法兰ソワルトンですが、頭のてっぺんの毛はそれぞれ個性があります。個体によって長さや毛量が違ったり、1本だけピンッと立っている子もいれば、2山に分かれている子もいたりと、みんな違います。また、赤ちゃんが成長するにつれ、もみあげ部分の白い線が出てきます。ある一定の時期だけオレンジ色の毛に白いもみあげが混ざるのですが、個人的にその色合いが好きです。

もよう
の
ヒミツ

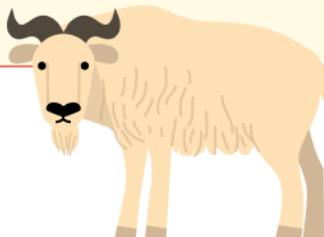
大人の法兰ソワルトンの被毛は全身黒でもみあげのところだけが白く、頭のてっぺんの毛が立っているのが特徴です。一方、赤ちゃんはオレンジ色で生まれてきますが、この色が群れの仲間に子守り行動を引き起こすといわれています。オレンジの度合いには個性があり、全身オレンジの子もいれば、下半身は黒っぽく生まれてくる子もいます。なお、生まれたときから頭のてっぺんの毛は少しだけとんがっています。

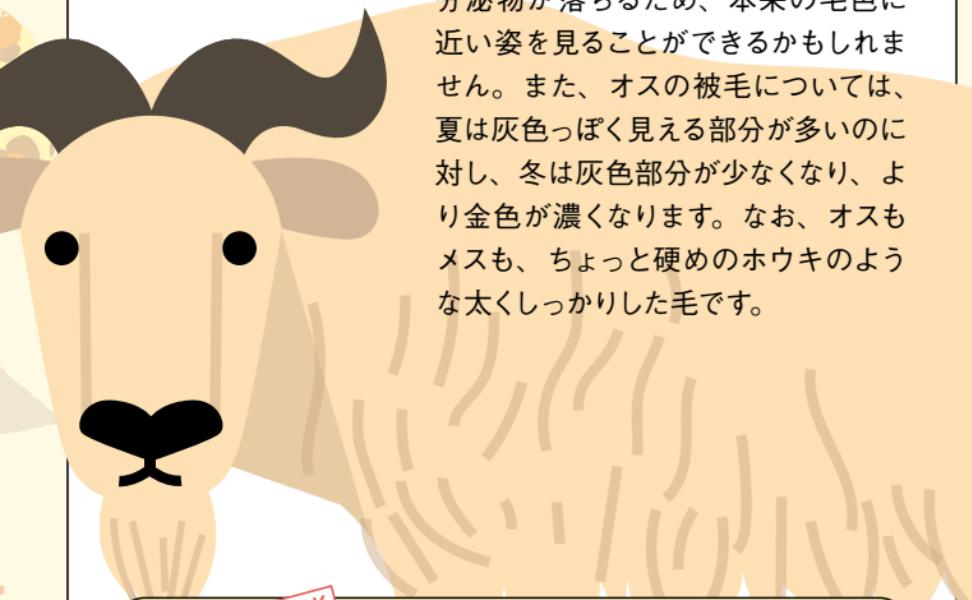
中国の内陸部、陝西省の秦嶺山脈に生息しているゴールデンターキン。^{せんせい しんれい}
標高1000～3000m程度の急峻な山岳地帯を、季節ごとに移動しながら生活しています。ターキンは4亜種に分けられ、ゴールデンターキンの名前はオスの金白色の被毛に由来。大人のオスの体重は300～400kg、メスでも200～250kgになります。



ズーラシアにいる主な個体

目の周りが白いヒナタ（メス・13才）、右角が短いロウ（オス・10才）、穏やかなファルコ（オス・6才）がいます。野生では木の葉や草をはじめ160種類以上の植物を採食しているゴールデンターキン。ズーラシアにいる彼らも植物が大好きで、高所に木の葉を設置したときに立ち上がって食べる姿は迫力満点です。





もよう の ヒミツ

オスは名前の通り金白色、メスは茶色に見えます。これは体から出ている分泌物の色の違いによるもので、メスの本来の毛色は明るいベージュのような色です。雨の日や水を飲んだ後などは分泌物が落ちるため、本来の毛色に近い姿を見る事ができるかもしれません。また、オスの被毛については、夏は灰色っぽく見える部分が多いのに対し、冬は灰色部分が少なくなり、より金色が濃くなります。なお、オスもメスも、ちょっと硬めのホウキのような太くしっかりした毛です。



飼育員からの“観察のヒント”

サブ運動場と展示場に大きな丸太を設置しており、大量に毛が抜け落ちる春と秋の換毛期には、丸太に体をこすりつけている様子がよく見られます。人間だと3～4人がかりで運べるようなサイズの丸太ですが、ターキンはたったの1頭で破壊してしまうことも。また、ゴールデンターキンは気温の低い高山帯に生息しているので、特に冬はとても活発です。大きな体でダイナミックに展示場の崖を上り下りする姿をぜひ見にきてください。

07

アムールヒョウ

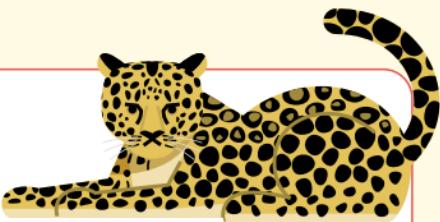
亜寒帯の森

中国や北朝鮮との国境付近のロシア沿海地方、中国北東部の吉林省や黒竜江省に生息。ほ乳類などの恒温動物は、同じ仲間でも寒い地域ほど体が大きくなるという「ベルクマンの法則」があります。その法則通り、アムールヒョウは最も北に分布するヒョウの仲間で、体長も最大級です。別名は「シベリアヒョウ」。



ズーラシアにいる主な個体

トライ（オス・6才）は、とても穏やかな性格。基本的に、エサの好き嫌いもほとんどありません。ただ、普段からよく口にしている鶏頭を、ある日、突然、残すことがあります。それでいて、次の日はペロッと完食します。ひょっとしたら、トライにしか分からない鶏頭の品質の変化などがあるのかもしれません。





もよう の ヒミツ

CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

春になると冬毛から夏毛に生え替わるため、寝室の排水溝にびっしり抜け毛が溜まります。その時期は、展示場でも木や柵に体を擦り付けることがあるので、抜け毛がふわふわと宙を舞う様子を目でできます。また、寒い季節は食欲旺盛で体重が重くなるので、一年で最も迫力のある姿をご覧いただけだと思います。

「口ゼットもよう」や「梅花もよう」と呼ばれる美しいもようが特徴。寒い地域に生息しているので、胸からお腹にかけて長い毛が生えています。また、季節によって体毛の色も変化し、夏は赤みがかった黄色、冬は明るい黄白色の毛が生えます。草むらや暗がりに隠れると姿が目立たなくなるので、パッと見は派手でも、このもようにはきちんと意味があることが分かります。

マダガスカル島で独自の進化を遂げたリクガメの一種で、別名「マダガスカルホシガメ」。オスよりもメスの方が、体が大きく成長する傾向があります。マダガスカル島では密輸や乱獲、自然破壊などの理由で数が減少していますが、近隣のモーリシャス島やレユニオン島に人為的に持ち込まれ、繁殖して生息しています。



ズーラシアにいる主な個体

甲羅が盛り上がっているまる（オス・16才）と、甲羅が平べったいいら（メス・14才）がいます。どちらも普段はあまり動かず、じっとしていることが多いです。ただし、エサの時間になると急に動き出し、勢いよく食べ始めます。野草も好きですが、特にニンジンやトマトを好んで食べます。



CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

1日に数回、甲羅が乾燥しないように霧吹きをしています。その際、ホウシャガメは警戒してスッと4本脚で立ち上ることがあります。見た目によらず、意外と脚が長いです。また、花火のような特徴的なもようですが、1頭1頭で異なります。おとなしくしていることが多く、観察や撮影がしやすいので、それのもよこの美しさを感じてください。

ホウシャガメという名前の由来にもなった、甲羅の放射状の黄色いもようが特徴です。そのもようと、高く盛り上がったドーム状の甲羅から「世界でもっとも美しいカメ」といわれることもあります。霧吹きをすると甲羅がより色鮮やかになり、乾燥時とはまた違った印象になります。

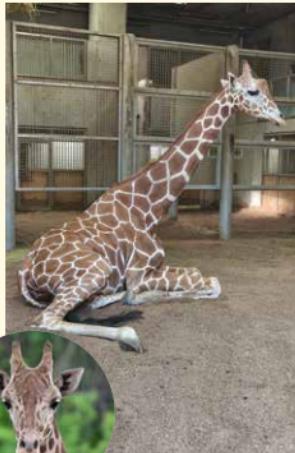
もよう
の
ヒミツ

09

キリン

アフリカのサバンナ

サハラ砂漠や熱帯雨林を除くアフリカに生息している、地球上で一番背の高い動物。生まれたばかりの赤ちゃんでも約1.7～2mあり、大人になると3～5mの高さになります。特徴的な長い首は、樹高の高いアカシア科の植物を食べるため進化の過程で伸びたのではないか、と考えられています。



ズーラシアにいる主な個体

耳に穴（イヤータグの痕）が開いているエマ（メス・13才）、食いしん坊のカルメン（メス・12才）、警戒心が強いエレン（オス・4才）がいます。混合展示場では、シマウマやエランドなどと一緒に過ごしています。キリンたちが他の動物のエサをこっそり盗み食いしたり、一緒に歩いたりする様子は、一見の価値あります。



CHECK

飼育員からの“観察のヒント”

種類や個体によって“キリン柄”に違いがあります。じっくり時間をかけて観察すると、個体ごとの特徴的なもようを見分けられるようになるはずです。自分だけのお気に入りの個体=“キリン柄”が見つかると、キリンへの親しみもぐっと増すと思います。

キリンといえば、目を引くのが頭から足先までのキレイなもようです。そんな“キリン柄”と聞いてイメージするのは、「アミメキリン」のもようが一般的だと思います。実は、アミメキリン以外にも種類がいて、それぞれもように違いがあります。同じ横浜市内の動物園にいるキリンでも、個体ごとにもようの形や色の濃さに違いがあります。なお、キリンの体表は意外と脂っぽく、しっとりしています。また、被毛は短めでザラっとした触わり心地です。

もよう
の
ヒミツ



「綱島周辺では、20年以前から緑化のためのボランティア活動が行われていました。以前は小学校や商店街など場所ごとに個別に活動していたのですが、横浜市環境創造局の『横浜みどりアップ計画』の助成を受けるため、2019年に『フローラルつなしま』を結成しました。現在は約10グループ、60人以上が『フローラルつなしま』に所属しています。グループごとだけでなく『フローラルつなしま』全体としての活動も活発で、種から苗を育てて配布したり、ワークショップやSDGsに関する取り組みも行っています。自分たちが暮らす地元のまち並みがキレイであってほしいという思いが、活動の原動力になっています」（吉原さん）



綱島交差点なごみ花壇

「ここはもともと綱島のシンボルのモモの木などが植栽されていましたが、手入れされずに荒れ、ゴミも捨てられるようになっていました。そこで、花壇を管轄する土木事務所に掛け合い、2014年から私たちで整備を行うようになりました。現在は、宿根草やハーブなど50種類以上の草花を植えています。また、単に植栽をするだけでなく、ツルバラを誘引するオベリスクを立てたり、草花の間に小道を設けるなど、花壇そのもののデザインにも気を配っています」（真島さん）



フローラルつなしまの最新情報や活動の詳細などは、下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/floraltsunashima/home>

花と 緑 さんぽ



フローラルつなしま

楽しめる植物

4月 | ボナンザピーチ(モモ)、
7~8月 | ハマカンゾウ 他



相鉄線沿線と相互直通運転の乗り入れ先で、植物に親しめるスポットとそこで活動されている方を訪ねました。併せて、周辺の見どころなども紹介します。

東急東横線綱島駅と東急新横浜線新綱島駅の周辺には、花や緑に親しむことができる花壇やプランターなどが点在しています。綱島周辺で緑化活動に取り組んでいる「フローラルつなしま」運営委員会の吉原智恵子さんと真島淳子さんにお話を伺いました。

綱島 周辺のオススメ 花と緑スポット

パデュ通り

「綱島駅西口から西に向かって続く『パデュ通り』。ここは、フランスのリヨン市のまち並みなどを参考に、石畳を敷いたり彫刻を設置したりといった整備が行われた通りです。通り沿いには25個のプランターや円形花壇があり、四季折々の植物が楽しめます。もともと綱島は昭和10年代まで日本有数のモモの産地でした。そんな歴史にちなみ、モモの木を植えたプランターがあります。他にも、コンクリートポットには夏の暑さに強い多肉植物を植えています」(真島さん)



駅構内横断場

橋上駅舎の登場前には、改札口に入った後、線路を横切ってホームへ渡る横断場が多くの駅にありました。



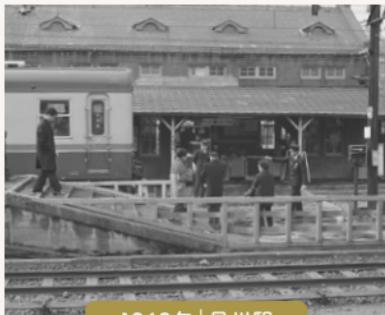
1959年 | 海老名駅



1964年 | 相模大塚駅



1964年 | 希望ヶ丘駅



1968年 | 星川駅

日々の鉄道やバスを利用する際に目にしたり触れたりしている「もの」。機器や設備などのかつての姿を写真で振り返ります。

個人情報の取り扱いについて

- ①お客様の個人情報は、相鉄瓦版の制作に関する使用目的以外に使用することはありません。
 - ②お客様の個人情報は厳正に管理し、個人情報保護法に定める個人情報取扱事業者として適正に取り扱います。
 - ③お客様の個人情報の取り扱いについては下記URLをご参照ください。
<https://www.sotetsu.co.jp/privacy-policy/>
- 相鉄瓦版は、相鉄グループのウェブサイトでもご覧いただけます。
<https://www.sotetsu.co.jp/kawaraban/default.htm>

2026年2月1日

発行：相鉄ホールディングス(株)

横浜市西区北幸二丁目9番14号

相鉄お客様センター TEL.045（319）2111
[平日9:00～19:00 土休日9:00～17:00]
※営業時間を変更する場合があります。



読者アンケートのお願い

相鉄瓦版2月号とSOTETSU WORLD TRIP PASSPORT のご感想や今後載せてほしいことなど、みなさまのご意見をぜひお聞かせください。いただいたご意見は今後の企画・編集の参考にさせていただきます。

アンケート期間：2月1日～2月15日

瓦版アンケートフォーム

[https://sotetsu-web.com/
enquete/form](https://sotetsu-web.com/enquete/form)



• 3月 •

ヨコハマ世界旅行

Stamp



(3月) 賞品交換確認欄

• 2月 •

ヨコハマ世界旅行

Stamp



(2月) 賞品交換確認欄



相鉄線沿線ZOOまつり2026

① どうぶつ似顔絵コンテスト

応募期間：2月1日（日）～3月8日（日）
※展示は～3月31日（火）

応募場所：①ジョイナステラス二俣川 3F
インフォメーション横、②相鉄ライフ三ツ境
4F 広場、③星天qplay 無印良品500内
展示場所：相鉄ライフ三ツ境 4F 広場
内容：専用似顔絵用紙に好きな動物の
絵を描き、上記施設に設置している応
募BOXに投函してください。作品は相鉄
ライフ三ツ境 4F 広場などに展示する
ほか、入賞者には賞品をプレゼントします。

② どうぶつワークショップ& どうぶつパネル展

日時：2月23日（月・祝）
10:30～17:00
※展示は2月1日（日）～3月31日（火）
場所：ジョイナステラス二俣川 3F
インフォメーション前・
2F 東西自由通路

人数：事前申込制・先着100組200名
(制作はお子さまのみ)
内容：ペーパークラフトで動物の「鼻」を
つくるワークショップ。展示期間中は相鉄
瓦版「動物たちのもようのヒミツ」パネ
ルをジョイナステラス二俣川に展示します。

③ アニマルフェア

期間：2月1日（日）～3月31日（火）
内容：ジョイナステラス二俣川や相鉄
ライフ三ツ境の各店が販売している
「動物」関連商品をピックアップ。

④ アニマルTシャツづくり

日時：2月21日（土）10:30～17:00
場所：相鉄ライフ三ツ境4F
コミュニティサロン
人数：事前申込制・先着100組200名
(制作はお子さまのみ)

内容：横浜市旭区で活躍しているデザ
イナー、ハヤシマスミ氏によるワー
クショップ。シルクスクリーンプリントに
ついて学びながら、動物のイラストの
オリジナルTシャツを制作します。

⑤ ズーラシアバックヤードツアー& ワークショップ

日時：2月28日（土）[受付] 9:30～
場所：ズーラシア園内各所
人数：50名（1組5名まで）※抽選制
対象：小学生以上

※未就学児の参加は不可
内容：ズーラシアでゾウ舎のバックヤード
見学ツアー
を実施。見
学後は、消
しゴムはん
こでつくる
エコバッグ
ワークショッ
プも行いま
す。



④⑤は参加条件あり。詳しくはウェブ
サイトをご覧ください。

Event Information

ズーラシア園内イベント



►干支展「午」^{うま}

期間：～3月2日（月）

場所：アマゾンセンター

内容：干支の午年にちなんだ企画展。パネル展やウマの頭骨などを展示しています。



►うんち展

期間：3月4日（水）～6月1日（月）

場所：ホッキョクグマ水中ビュー

内容：動物の「うんち」をテーマに、動物たちの食性や消化の仕組みが学べるパネルや、いろいろな動物たちのうんち標本を展示します。



►知ろうくまフェスタ！

期間：2月11日（水・祝）～3月2日（月）

場所：園内各所

内容：2月27日の「国際ホッキョクグマの日」に合わせて、パネル展や写真展、ワークショップなどを行います。



►ズーラシア ガーデンパーティー

期間：3月20日（金・祝）～4月19日（日）

の土日祝（全11回）

場所：ころころ広場・ころこロッジ

内容：キッチンカーの出店やワークショップなどを行います。





Animal

ニホンツキノワグマ

ズーラシアでの展示ゾーン

►日本の山里

日本の本州と四国に生息。胸の白いもうが三日月に見えることが、「ツキノワグマ」という名前の由来とされています。なお、この胸のもようは個体ごとに違うので、それぞれを識別するのに役立っています。



Animal

ニホンザル

ズーラシアでの展示ゾーン

►日本の山里

日本の本州、四国、九州に生息。サル類の中では最も北に暮らしています。群れで生活し、個体間には順位があります。そのため、観察しているとそれぞれの関係性が分かってきて興味深いです。

炭焼き小屋

ズーラシアでの展示ゾーン

▶日本の山里

弥生時代に始まり、1950年代まで盛んに行われていた木材を炭化させる「炭焼き」。炭の材料を得るために多くの人が山を管理することで、生きものたちにとっても住みよい環境が保たれていました。



Shop



天王町

京都宇治茶 又兵衛

きょうとうじぢゃ またべえ

横浜市保土ヶ谷区天王町1-27-3 1F

TEL.045(453)8975

営11:00~18:00 休日曜・祝日・不定休

<http://www.matabay.com>

京都にある自社茶園で栽培した茶葉を使った抹茶をはじめ、煎茶・玉露などの宇治茶を扱っています。5代目店主は元プロ野球選手で、横浜の球団に在籍した縁で天王町に販売店を開業しました。

にほん【日本】

アジア大陸の東、日本海を隔てて太平洋上に位置する島国。北海道、本州、四国、九州の四大島と、南西諸島、小笠原諸島などから構成されます。



Shop

さがみ野

タイ・ラオス家庭料理
sabaidee サバイデー

海老名市東柏ヶ谷2-25-20
TEL.046(211)3447
営 12:00~15:00、18:00~23:00

休 月曜

[https://www.instagram.com/
sabaidee_laothai/](https://www.instagram.com/sabaidee_laothai/)

店名は「こんにちは」を意味するラオス語。店主のヴァンナーさんが生まれたのは、ラオスのタイに隣接する地域で、ご自身が子どものころから親しんだラオスやタイの家庭料理を提供。昼は6種類のセット、夜は多彩なメニューが用意されています。

Asia



ボルネオオランutan

スーラシアでの展示ゾーン

►アジアの熱帯林

オスは体が大きく、顔の両側にフランジと呼ばれるヒダが発達しているのが特徴。全身は赤茶色の長い毛に覆われています。ガラス越しに来園者とコミュニケーションをとることもあります。





聖獣バロンと魔女ランダ

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アジアの熱帯林

「聖獣バロン」は、災いを防ぐ力を持ち、善の象徴とされています。一方、悪霊や魔女たちを統べる「魔女ランダ」は、災いをもたらす力を持ちます。いずれもインドネシアのバリ島に伝わるものです。

*World
Map*

Southeast

とうなんアジア【東南アジア】

アジアの南東部に位置し、インドシナ半島とマレー諸島からなる地域。ミャンマー、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア、ブルネイなどの国があります。

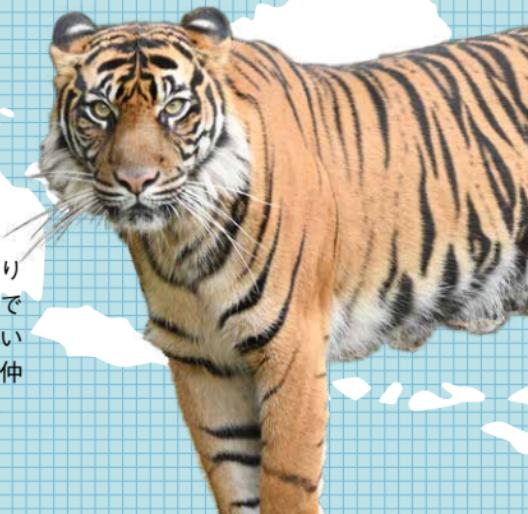
Animal

スマトラトラ

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アジアの熱帯林

ズーラシアでは、ガラス越しにかなり近づいて見ることができます。近くで見ると迫力があり、大きく感じると思いますが、実はスマトラトラは、トラの仲間の中で最も小型といわれています。



South Asia

ちゅうおうアジア【中央アジア】

ユーラシア大陸の中央部エリア。カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス、トルクメニスタン、タジキスタンの他、広義にはモンゴルやチベットなども含まれます。

みなみアジア【南アジア】

アジアの南部に位置し、インド半島を中心とした地域の総称。インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、ブータンなどの国があります。



ガネーシャ像

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アジアの熱帯林

「ガネーシャ」は、頭はゾウ、体は人間の姿をしたヒンズー教の神様。富や知恵、学問の神様として、インドで高い人気を誇っています。

Animal

インドゾウ

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アジアの熱帯林

ズーラシアで最も体が大きく力が強い「インドゾウ」。特にオスの「ラスクマル」は体重が5トン以上あります。長い鼻を器用に使う様子は必見です。



Central and



Animal

モウコノウマ

ズーラシアでの展示ゾーン
►中央アジアの高地

現存する唯一の野生馬(家畜化されていないウマ)とされる「モウコノウマ」。モンゴルの厳しい自然環境を生き抜くため、頭が大きく、脚が短いのが特徴です。

鶴ヶ峰

スパイスマート鶴ヶ峰

横浜市旭区鶴ヶ峰2-3-2

TEL.080(3342)5422

営10:00~22:00 休無休

鶴ヶ峰駅近くのエスニック料理店「スパイスガーデン」の店主が2024年に開業。店主の故郷であるネパールをはじめ、アジア各国のスパイスや食料品、雑貨などを幅広く取り扱っています。



Shop



天王町

poro 珈琲 ぼろこーひー

横浜市保土ヶ谷区天王町1-11-4 矢澤ビル1階
TEL.045(442)4667

● 11:00~20:00(火曜は12:00~) 休 不定休

<http://www.poro-coffee.com/tervetuloa.html>

フィンランドに駐在経験のあるオーナーが
営むカフェ。フィンランドのスープ「ケイット」
を日本向けにアレンジしたオリジナル料理
やシナモンロール風チーズケーキなどがメ
ニューに並び、北欧気分を楽しめます。

Shop



Animal

シロフクロウ

ズーラシアでの展示ゾーン

▶ 亜寒帯の森

オスは全身が白いのに対し、メスには
白い羽根の中に黒いもようがあります。
ズーラシアでは、メスの「ユキ」の休息して
いるときのとぼけたような顔つきと、起きているときの眼光鋭い
顔つきのギャップが人気です。



ユーラシアカワウソ

スー・ラシアでの展示ゾーン

▶ 亜寒帯の森

しなやかな身体と、水かきのある足を使った泳ぎが得意な「ユーラシアカワウソ」。岩陰に隠れたドジョウを探し出す、水中での俊敏な動きが魅力的です。



Europe

ヨーロッパ【ヨーロッパ】

ユーラシア大陸の北西部に位置し、北は北極海、西は大西洋、南は地中海と面している地域の総称。イギリス、フランス、イタリア、ドイツ、スペインなどの国があります。



ローズマリー

スー・ラシアでの展示ゾーン

▶ アフリカのサバンナ

地中海沿岸原産で、乾燥地を好む常緑低木。強い芳香が特徴で、早春から春にかけて小さな花をつけます。

Animal

エミュー

ズーラシアでの展示ゾーン

►オセアニアの草原

ダチョウに次いで世界で2番目に大きな鳥。飛ぶことができませんが、走るのはとても得意です。走る様子はもちろん、群れでゆったりと歩く姿も見応えがあります。



Shop



おーすとらりあ【オーストラリア】

太平洋やインド洋に囲まれている国。南半球にある世界最小の大陸。



Ark Moon Cafe

アーク ムーン カフェ

藤沢市湘南台2-24-15 サンライズ湘南 1F

TEL.0466(47)9944

● 11:30~21:00(土曜は18:00閉店。平日
18:00ごろからは小料理屋「げんこつ女房」
として営業) (休日・月曜

<https://www.instagram.com/arkmooncafe/>
世界一周旅行を経験した親子が2024
年10月にオープンした「旅」がテーマの
カフェ。オーストラリアでバリスタの資格
を取得したおふたりが、オージースタイル
のコーヒーメニューを提供しています。



アボリジニの岩絵、砂絵

ズーラシアでの展示ゾーン

►オセアニアの草原

オーストラリアの先住民が情報の記録や伝達のために使った絵画表現。絵を描くことでコミュニケーションをとっていました。

*World
Map*

Australia

Animal

アカカンガルー

ズーラシアでの展示ゾーン

►オセアニアの草原

有袋類の中で最も体が大きい「アカカンガルー」。オスは特に大きく、オスとメスとでは見た目も違います。ズーラシアでは、広い展示場でのんびり休む姿が見どころです。



ウーリーモンキー

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アマゾンの密林

全身を覆うふわふわの黒い毛が特徴。筋肉が発達しているしっぽの先端には指紋のような「尾紋」があり、滑り止めの役割を果たしています。これによって、枝をつかんだり、しっぽだけでぶら下がったりできます。



icas

あめりか【アメリカ】

北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の総称。北アメリカにはカナダ、アメリカ合衆国、メキシコなどが、南アメリカにはブラジル、アルゼンチン、ペルーなどの国があります。



オルメカの人頭像

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アマゾンの密林

紀元前1500年ごろ、メキシコ湾岸地方に存在したオルメカ文明を代表する巨大石彫のひとつです。





大和

CORAZON LATINO

コラソン・ラティーノ

大和市大和南1-13-17 コーポ富沢1F

TEL.046(262)6565

●12:00~22:00 休火曜

<https://corazonlatinoyamat.wixsite.com/mysite>

ペルー出身のオーナーシェフ、滝沢マリアさんが2000年に開業。しょうゆなどで日本人向けに仕上げた牛肉と野菜の炒め物「ロモ・サルタード」(写真)などが楽しめます。また、店内ではペルーの食材や調味料なども販売。

Shop



World
Map

Amer

Animal

オオアリクイ

ズーラシアでの展示ゾーン

►アマゾンの密林

長く大きな尾、細く長い顔、前足の大きな爪が目を引く「オオアリクイ」。鋭く大きな爪は、アリ塚を壊すためのものです。ズーラシアでは現在5頭飼育していて、1頭ずつ交代で展示場に出ているので、それぞれの個性的な行動を観察することができます。





Animal

ライオン

ズーラシアでの展示ゾーン
▶アフリカのサバンナ

「ライオン」は、ネコ科で唯一群れをつくります。特徴的なオスのたてがみが生え始めるのは1歳過ぎから。その後、5～6歳まで量が増え、色も濃くなっていきます。



Animal

ヒガシクロサイ

ズーラシアでの展示ゾーン
▶アフリカのサバンナ

主に樹葉を採食しており、枝葉を採食しやすいようにとがった唇が特徴。嗅覚や聴覚に優れ、特に大きな耳を常にさまざまな方向に動かして周囲を警戒しています。





ダトーガ族の家

ズーラシアでの展示ゾーン

▶アフリカのサバンナ

「ダトーガ族」は、タンザニア北部のエヤシ湖周辺のサバンナに暮らす牧畜民。ゲーダと呼ばれる円形の敷地の中に、女性とその子どもの家、若い男性の家、家畜の収容場が配置されています。

Africa



World
Map

あふりか【アフリカ】

ヨーロッパの南に位置し、インド洋、大西洋、地中海に囲まれた大陸。50以上の国があります。



平沼橋

Afrikico アフリキコ

横浜市西区岡野2-16-1-103

TEL.045(317)7890

営業時間 11:00~19:00 休日・水・木曜、祝日

<http://www.afrikico.co.jp/>

ガーナ出身の店主がアフリカや自国の文化を知ってもらおうと、2003年に開店したアフリカ雑貨専門店。民族楽器をはじめ、生地、民芸品など、直輸入した雑貨がそろっています。

Shop





World map

Americas

世界の各大陸ごとに、
ズーラシアで出会える動植物や文化、
相鉄線沿線の飲食店や雑貨店を紹介します。
相鉄線に乗って、世界旅行を楽しんでみませんか？





Africa



「よこはま動物園ズーラシア」では、園内が世界の気候別・地域別にゾーニングされ、世界各地の動物に出会えるほか、植物や文化についても学ぶことができます。ズーラシアへの行き帰りには、相鉄線沿線にある、世界各国のフードやグッズを楽しめるショップを訪ねてみましょう。「世界旅行」のかたわら、スタンプラリーに参加すれば楽しさ倍増!便利な1日乗車券(ズーラシア入園券付き)も販売します。



ラッピング車両「どうぶつトレイン」運行

相鉄線に、「相鉄瓦版」に登場した動物たちのかわいいイラストを窓にラッピングした21000系電車(東急目黒線直通用車両)を運行!かわいい「どうぶつトレイン」に乗って、ズーラシアにかけよう!



SOTETSU WORLD TRIPスタンプラリー 2月と3月でスタンプデザインが変わります!

ズーラシアと相鉄線沿線の7か所のラリーポイント(✿)を回って、かわいいオリジナルスタンプを集めよう! 7か所すべてのスタンプを集めると、先着合計1,000名さまにオリジナルラゲッジタグをプレゼント!

■ラリーポイント: ズーラシア園内2か所(ころこロッジ内・アマゾンセンター内)・

相鉄線星川駅・湘南台駅・羽沢横浜国大駅・

ジョイナステラス二俣川3F インフォメーション前・相鉄ライフ三ツ境4F 広場

■コンプリート賞:スタンプラリー台紙(本誌30~33ページ)に7か所すべてのスタンプを押印し指定の賞品引換所へお持ちいただくと、先着各500名さまにオリジナルラゲットタグ(2月:サタケシュンスケ氏による「相鉄瓦版」動物イラスト。3月:相模鉄道キャラクター「そうにゃん」をデザイン)をプレゼントいたします

■賞品引換所:ジョイナステラス二俣川3F インフォメーション

■賞品引換時間:10:00~21:00

[注意事項]

- ・7か所のスタンプは、2月のスタンプと3月のスタンプが交ざっていてもかまいません。
- ・コンプリート賞の配布が終了しても、スタンプラリーは期間中実施いたします。
- ・コンプリート賞のお渡しは、お一人さま各月1個までです。
- ・ジョイナステラス二俣川は2月19日(木)、相鉄ライフ三ツ境は2月24日(火)が休館日となり、スタンプ押印・賞品引換ともに行えません。



SOTETSU WORLD TRIP!

「ヨコハマ世界旅行」の楽しみ方



実施期間：2026年2月1日（日）～3月31日（火）

※全てのイベントの実施・販売期間等は予告なく変更・中止する場合があります

よこはま動物園ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1

TEL.045(959)1000

開園時間／9:30～16:30（入園は16:00まで）

休園日／火曜（祝日の場合は開園し、翌日休園）

►鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分



ズーラシア×相模鉄道・相鉄バス 1日乗車券「SOTETSU WORLD TRIPチケット」

ズーラシア入園券が付いた、相鉄線全線（27駅）と相鉄バスの運行する路線バスが乗り放題の、お得なデジタル1日乗車券。スタンプラリーを楽しんでいただくのに便利です。

発売金額:大人1,800円・中人(高校生)1,400円・

小人(中学生)1,320円・

小人(小学生)480円

ズーラシア入園料を含みます

使い方: アプリ「RYDE PASS」を

ダウンロードし、画面を提

示してご利用ください



【注意事項】

- ・よこはま動物園ズーラシアは、毎週土曜日、小・中・高校生は無料となります（要学生証等）。
- ・一部の路線バスは対象外となります。
- ・「RYDE PASS」はRYDE社が提供するスマートフォンアプリです。



ズーラシア園内イベント

相鉄線沿線ZOOまつり

詳細は34～35ページ参照

相鉄線に乗って
「世界」を
楽しもう!

SOTETSU WORLD TRIP!



YOKOHAMA WORLD TRIP!

「よこはま動物園ズーラシア」(以下、ズーラシア)で
世界の動物や文化に出会い、
相鉄線沿線のレストランやショップで異国情緒を味わう。
ズーラシアと相鉄グループがコラボレーション、
相鉄線沿線を世界の大間に見立てた
「ヨコハマ世界旅行」へご案内。
パスポートを持って、さあ世界の旅へ出かけよう。

ヨコハマ
世界旅行



SOTETSU WORLD TRIP
PASSPORT

